

事務事業名	いいだ人形劇フェスタ開催事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	S54	終了	
H27担当課等名	文化会館	H27係等名	人形劇のまちづくり係		H26係等名	人形劇のまちづくり係							
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		施策	27	文化芸術の振興						
目的	対象(誰・何を)	①市民 ②全国の人形劇関係者			対象指標	指標名及び単位			26年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	①観客、劇人、スタッフとしてフェスタに参加する。②フェスタに参加し上演する。				飯田市の人口(人)			102446				
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術に親しむ市民の割合(%・増やす)				全国の人形劇団数			1677				
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	①人口に対するワッペン購入者数の比率			13	12.9	13	13					
	成果指標	②全国の人形劇団数に対するフェスタ参加劇団数の比率			25	22.1	25	25					
定性目標													
事業概要	<p>日本最大の人形劇の祭典である「いいだ人形劇フェスタ」を開催する「いいだ人形劇フェスタ実行委員会」の活動を支援する。このフェスタのキーワードは「観る・演じる・ささえる わたしがつくるトライアングルステージ」であり、観る人・演じる人・ささえる人すべてが参加証ワッペンを購入し、参加者全員でフェスタをつくっている。飯田市民をはじめ各地から2,600人を超えるボランティアスタッフが参加し、企画運営している。370を超える劇団、約1,900人の人形劇人が参加し、市内約140会場で約500公演を上演。</p>												
事業内容					名称			活動指標					
26年度事業内容	1 いいだ人形劇フェスタ2014の開催(負担金を支出) 開催期間 8月5日(火)～10日(日) (1)公演・催事 ア 本部公演、地区公演、広域公演、プレゼント公演の実施や催事の企画運営。 (2)多様な主体の参加 ア 市民、企業や団体、人形劇人などが主体的に参加できるように取り組んだ。 (3)特徴的な取り組み ア 「人形劇 北海道フェア」を特集する。アマチュア人形劇の原点である北海道の劇団を招聘するとともに、人形劇を通じた地域間交流を促進した。				1 ①参加劇団数 ②参加人形劇人数 ③ステージ数 ④ワッペン販売数 ⑤観劇者数 ⑥ボランティア数 ⑦賛助団体 ⑧ウェルカム人形展参加商店数			1 ① 371劇団 ② 1,918人 ③ 498ステージ ④ 13,206枚 ⑤ 46,328人 ⑥ 2,150人 ⑦ 37団体 ⑧ 51店					
	事業コスト					25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		44,650	30,000	28,000	33,700	H26いいだ人形劇フェスタ総事業費48,444千円							
国庫支出金		26,650	12,000	10,000	14,000	H25,26(国)地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金							
県支出金						(そ)ふるさと寄付金							
起債													
その他		10		57	1,700								
一般財源		17,990	18,000	17,943	18,000	H27(国)文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業							
人件費計(千円)②		15,379		15,379		・海外人形劇団の招聘等							
正規職員所要時間		4,000		4,000		(そ)地域の文化・芸術活動支援事業(地域創造)							
臨時職員所要時間		1,000		1,000		・ドイツ・ポーランド・日本連携プログラムの実施							
総事業費①+②		60,029	30,000	43,379	33,700								
事業内容・目標達成状況の振り返り	開催期間を6日間としたことにより、上演参加劇団数としては過去最大の272劇団数の参加をいただくことができた。												
改革改善の考え方	①問題点	参加劇団が増加傾向にあり、公演会場が不足している。											
	②改革提案	基本4日であった開催期間を6日とする。											